

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

今日は将棋好きの江戸幕府八代将軍・徳川吉宗が「御城将棋の日」と定めたことに由来して「将棋の日」だ。10月に最年少記録21歳2カ月で史上初と

なる8冠を達成した藤井聡太さんに感動した一年でもあった。羽生善治日本将棋連盟会長は「継続した努力、卓越したセンス、モチベーション、体力、時の運、すべてが合致した前人未踏の金字塔だ」とコメント。師匠の杉本昌隆8段は「どんなに険しい道でも臆せず挑戦し、考え抜いた末に最後は必ず正解にたどり着く」とコメント。今後どんな道を歩むのだろうかと思いを寄せる。

藤井八冠は現代用語の基礎知識選2023ユークキャン新語・流行語大賞の候補に選定されている。候補30語は年々意味が解らない新語や流行語が多くなり社会事情に無知になっていく自分に驚かされる。改めて言葉の意味を学ばなければと強く感じさせる企画に感謝だ。

新語・流行語の意味を知ること大切だ

11月中旬に戸隠秋葉三尺坊大権現本宮の生家岸本家に地域秋葉講の代表として参拝する。秋葉三尺坊は火伏せ(火防)に効験あらたかと信仰された神仏習合の神だ。秋葉権現を信仰した有名な事例

は、明治時代に東京の大火を教訓として延焼防止のための火除地を「秋葉ノ原」と呼び、後に秋葉原という地名が誕生するなど本来祭られていた神格を無視してまで民衆が秋葉権現を信仰した歴史が第一である三尺坊の住持を務め27歳のときに真言秘密不動三昧之法を修得、人間七難八苦のうち、火難を救うべく身火心火の術と悟りに至ったとされ、その後諸国を遍歴して教えを説かれ最終的に今の静岡県春野町にある秋葉山に脚を留め火防の大魔神力を持って人々の火難を救われた事で全国各地に秋葉講がある事を知ることができた。



戸隠岸本家の文化的価値を後世に伝える必要性を強く感ずる

秋葉三尺坊大権現は不動明王の化身とされ、白狐に乗って神風のごときスピードで移動したと言ひ伝えられ、かつて人間であつた人が、そのあまりに超人的な力量のために、後世の人に神としてあがめられることを言う権現といわれていた。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)